



# JCAA JOURNAL



## 謹賀新年



JCAA顧問弁護士 神谷信行氏 書

### JCAA について

人間の営みの多義性を思えば、芸術的な音楽の作曲、編曲、また一方、商業的な音楽、映像やラジオ作品への附帯音楽、子供のうた、コマーシャル音楽等、いわばエンターテインメントな音楽にも、共にそれなりの創造性がなければ成立しない。その点 JCAA は、その意味で包括的に、種々の作曲家の活動を擁する団体として活動することを目的としている。

国際部部长 湯浅譲二

### JCAA Why now?

In accordance with the thought regarding the versatility of the living of human-being, there is no arguments that any kinds or types of musical works, Music for Fine arts, Arrangement, Music for Commercial, Incidental music for any kinds of media, Songs for children, even so-called Music for Entertainment, should have CREATIVITY, and this is absolute truth.

JCAA is comprehensively aiming at being the organization leads the activities of all kinds of composers.

Joji Yuasa Dept. of International Affairs

### 2011年11月26日のACL 台湾特別ミーティング報告

JCAAに待望の国際部が出来てから1日も早く海外との交流が始まることを期待していた。丁度今年の11月にACL(アジア作曲家連盟)の第29回Conference and Festivalが台湾で開催されることになっていた。この機会にアジアの作曲達と交流を持ちたいという服部会長、小六副会長、三枝副会長の強いご要望に応える為に、私は出発の2週間くらい前から毎日ACL幹部達とメール連絡を取り合っていた。外山理事作成の英文の紹介文を添付して送った。先ずJoshua Chan に連絡したところ大変興味を示し、香港からは3名で参加するので26日の開会コンサートの終了後にミーティングを持ちましょうと言う返事が届いた。非常に嬉しかった。後は私が人選して現理事会メンバー、元会長、前理事等々にメールを送った。皆さんから参加のお返事が続々と届いた。しかしコンサートが22時に終了と言うことが分ったので場所探しが大変だった。ACLメンバーの宿泊しているホテルから便利な所で探して頂きたいと台湾の作曲家達にお願いしたところ、ホテルのレストランは22時まで、近く有名な台湾料理レストランは当日結婚式で貸し切りとのこと。結局国立師範大学のChien shan-Hua教授の研究室を解放して下さることとなった。更にコンサート会場から研究室迄はChien先生のワゴン車とShyh-ji Pan教授の車で参加者を運搬して下さると云う過分なご協力を頂き感激であった。

(次ページに続く)



(前ページより続き)

## 「JCAA とACLの重要メンバーとの懇談会」

日時:2011年11月26日 22時~23時30分頃

会場:Chien shan-Hua教授の研究室(国立師範大学)

出席者:JCAAから(敬称省略)

服部克久、小六禮次郎、猿谷紀郎、入野禮子(国際部委員、ACL名誉会員)、  
服部奈緒(服部克久氏長女、通訳として参加)

ACL メンバーから

Joshua Chan (香港、ACL 会長), Doming Lam(香港、名誉会員),

Ramon Santos(フィリピン、名誉会員、元会長), Chien Shan-hua(台湾ACL幹部),

Shyh-ji Pan(台湾、元理事、会計), Paik Young-Eun(韓国、理事、会計),

Chung Seung Jae(韓国ACL事務局長)



## 欠席者

Michael Norris (ニュージーランド、理事、事務局長)28日に到着の為。

Jack Body(ニュージーランド、元理事、今年の総会で新名誉会員として承認された。)彼の作品の打ち上げに行つた為。

Dan Yuhas (イスラエル、副会長)翌27日に夫妻同伴で到着の為。

Weerachat Premananda(タイ、元理事)洪水の為出席不可能。

(彼は良い地位を得たので是非交流をやりたいと非常に興味を持つ。)

Chien教授の助手のVibianがコーヒーやお茶のサービスや買い物に行ってくれた。私が日本から持参した和菓子とかき餅を食べながら会議は始まった。先ず私が皆様をご紹介してから、服部会長から会談の機会を与えて下さったこと、お疲れの所大勢の方々がお集まり下さったこと、又この場所を提供して下さいたことに対して感謝を述べられて、綺麗なJCAAのパンフレットを出席者に配布された。JCAAに付いて構成メンバーはクラシック作曲家のみでなくポピュラー音楽の作曲/編曲家も沢山いることを説明された。この点に関しては全く問題は無いようであった。参加云々の前に先ずは交流を始めてお



互いの人や文化を知り合うことが良いのではないかと私は強調した。勿論それに反対する人はいなかった。活発な意見が飛び交う中、交流の話しから自然とACLに団体として参加するにはどうすれば良いかと言う話しへ方向が向いて来て終った。個人会員としてACLへ入会するのは全く問題ないのだが、既にメンバー国から他の団体が参加することについては今迄に例が無かった。昔オーストラリアのメルボルンからシドニーと別にメルボルンとして加入したいと申し出があり、何回も理事会と総会で議論されたが結局1国1団体と云うことで認められなかった。そのことを聞いてみた所、あの申し出はその後取り下げられたとのことであった。韓国の Paik Young-Eunから「この会の目的は一体何か?」と鋭

い質問がでた。彼女はJFCと参加している日本人達との関係は全く把握していなかったので何故このような話し合いが必要なのか理解に苦しんでいたのがであった。前会長で現在は名誉会員の韓国のKyungsun Suh には説明済みだったが彼女は今回は不参加である。話しの方向が参加と言うことになってきたので研究室のコピー機で定款をコピーして下さり皆で見る事が出来た。(私は頂かなかった。) Shyh-ji Panがそれを読んで「団体として参加出来ることになっているので本当に良かったですね。」との発言があり、皆で良かった良かったと喜んでこの会を終わった。深夜近くになっていた。又来た時と同じ様に車に分乗してホテルへ帰った。私は朝、日本を出たので長い1日であった。

服部氏達はホテルが別だったのでタクシーで帰られた。

以上

## 後記

12月1日の総会で規約改正が議論され賛成絶対多数で議決された。それは1国から他団体が参加する場合は、後から参加する団体は「準団体」となると言うものであった。総会でマレーシアの第2の団体の代表が団体の活動報告と参加希望理由に付いて演説をした。彼等は既に手続きを踏んでいたのが今年の総会の議題になっており、次回の総会で賛成多数で認められると思われる。37年の長いACLの歴史の中で初めてのケースである。私としてはJCAAが第2の例になると大変嬉しく思う。彼等も期待している。最終日の12月3日にJoshua Chan が私に耳打ちした。参加はAssociate member になって終ったがと残念そうに伝えてくれた。勿論私は分っていると答えた。後はJCAAの理事会で検討されることである。もし私に出来る事があれば国際部としてお手伝いしたいと思っている。尚、最新規約は間もなくJCAA事務局と私宛に送って貰うことになっている。 良い会合が持てて本当に良かったと思う。彼等も喜んでいた。

国際部 入野禮子 Reiko Takahashi Irino

JCAAスペシャル  
アレンジャーズ・バトル -Reunion-



音楽の料理人たち

2011.10.25 (火) at JZ Brat



実力派として有名な三人の作編曲家  
(小六禮次郎さん、大森俊之さん、山下康介さん)  
の作品によるライブ演奏会に、ピアノ弾きとして参加さ  
せていただきました。

才能溢れる三人の個性的な作品を、4人だけの  
バンドで表現するのですから仲々大変ではありまし  
たが、この名曲の数々を会場のお客様にうまく伝え  
られればと、いつものライブとは一味違った緊張感を持って演奏しました。  
(難しい曲もあり、多少のミスをしてしまいました。皆様、ゴメンナサイ！)

この日の楽曲は多彩であらゆるジャンルに渡っておりまして、聴いていた方々が決して飽きることのない内容だ  
ったと思います。其々のゲストの歌、演奏も混じえフィナーレに向かっての盛り上がりも好調でした。

中でも、三人の作曲家のトークがとても印象的で、たとえば作曲する際の裏話とか曲作りにあたっての苦労話し等、  
思わず本音を吐いてしまったりのくだりはサンパチックさがかいま見れて良かったです。

普段人目につかない“地味な仕事”をなさってる方々の、こうしたライブをもっと沢山の人達に知って欲しいと、作編曲  
家のはしぐれである私からも心から願っております。

充実した一晚を過ごさせていただきました。

美野春樹

## 第2回 FCA フェスティバル 2011.12.6 (火) at けやきホール

12月6日、けやきホールにて開催された日本音楽作家団体協議会主催のイベント「第2回 FCA フェスティバル～  
音楽作家 12 団体によるトーク&コンサート～」を観覧させていただきました。12もの音楽作家団体が集まる FCA の大所  
帯ぶりを反映し、トーク&コンサートと銘打たれた今回のフェスティバルは全4部の充実した構成となっていました。

会は FCA 会長の服部克久さんのご挨拶で開幕。とてもユーモラスな開会のお言葉の後、今年6月開催の「ピアノ悠々  
(ゆうゆう)コンサート」用にソロ・ピアノのために優しく編曲された「ル・ローヌ(河)」を自ら演奏されました。

フェスティバル第1部は「詩人が語る“うたごころとは…”」と題し、作詞家の喜多條忠さんを司会に(社)日本作詩家協  
会ほか3団体からのパネリストによるトークセッションと、ゲスト歌手にエンレイさんを加えた荒木とよひさバンドの演奏で構成  
されていました。喜多條さんの楽しい進行で時間は伸び気味だったようです。トークではサトウハチローさんの“うたごころ”を  
題材に活発な意見が交換されました。また、(社)日本童謡協会の作曲家・三平典子さんが童謡を作曲される際の留意  
点として、言葉の本来のイントネーションを守ることを挙げられていたことが印象に残りました。

第2部は日本現代音楽協会ほか4団体による企画で、「花火」をテーマに童謡、歌曲、現代音楽という三つの異なるス  
タイルの楽曲が初披露されました。中でも松尾祐孝さん作曲による現代音楽編「花火・HANABI」では、トロンボーンでピアノ  
の内部弦を共鳴させるなど、強いインパクトを残しました。

(社)日本作編曲家協会が受け持ったパートが第3部「メロディと言葉と編曲と」です。3月11日の震災のあとで外山和  
彦さんと安田信二さんが作曲したメロディに前田たかひろさんが詩をつけた「ヤダ... 僕は負けない」を題材に、同曲が  
震災チャリティ絵本添付CDの「さんぽの木」として、前田たかひろさんが別詩を乗せて生まれ変わらせたことが紹介されま  
した。また、これらの楽曲は、著作物使用料が復興支援に充てられる「こころ音(ね)プロジェクト」の参加曲であり、JASRAC  
による同プロジェクトの概要が外山さんによって紹介されました。

最後のパートは、(社)日本作曲家協会ほかのコラボレーションによる「世界から、そして日本から～外来曲と日本の音楽  
界の関わり」。日本訳詩家協会会長の永田文夫さんをゲストに、外国曲が日本語の歌詩を乗せて国内で親しまれてきた  
ことが興味深く紹介されました。これとは逆に、現在、由紀さおりさんが海外で注目されていることを受け、日本から世界へ  
紹介された楽曲の元祖として「上を向いて歩こう」を大合唱してフェスティバルの幕は下りました。

合計3時間に及ぶ今回のコンサート。限られた誌面ではとうてい語りつくせない充実した内容でした。願わくは、こうした音  
楽の楽しみ方を大いに広げてくれる好企画の存在が、より広く一般の音楽ファンの方へ伝わることを願いつつ、会場を後に  
いたしました。

JCAA for You 会員 早川 優

## JCAA for You 担当より

JCAA 事務局の関口直仁と申します。平成23年度より、前任の伊藤に代わり、JCAA for You に関わる事務を担当しております。JCAA for You は、「JCAA」と「音楽を志す学生」「音楽を愛好する一般の方々」との架け橋としてスタートし、snsであるfacebookを通じて様々なイベントを案内しております。現在の総会員数は62名で、そのうちイベントへの参加権を持つプレミアム会員は47名。平成23年4月より案内したイベントは「リハ・ゲネ見学」が12件、「イベントの優待」が8件、「関連団体コンサートへの招待」が9件、「ピアノ悠々コンサート使用譜面の一部配布」「イベント告知動画のアップロード」がそれぞれ1件で、参加会員数は、のべ78名でした。なお、いずれのイベントも好評で、頂いた感想には「リハーサルの時にプレイヤーに配られた譜面に、コード進行とメロとオブリガート程度しか書かれていなかったことに驚いた。」というものや、「尊敬する先生にお会いすることができて嬉しかった」といった感想が多かったように感じられます。

JCAA for You では、これから外山和彦先生の指示のもと活動内容の魅力を高め、より多くのJCAA for You会員獲得を目指して参ります。諸先生方におかれましては、何卒お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

JCAA 事務局 関口直仁

## タックスエイドのご案内

## ☑ 森税務会計事務所

今年も個人の確定申告の季節となり、頭の痛い時期になりました。毎年、期限に追われ申告することになりますが、一度下記の事を見直されては如何ですか。

## ・青色事業者の方

青色申告のメリットは 65 万円控除ですが、選択適用されていますか？

10 万円控除は当たり前ですが、書類の整備や作成方法により効率的に減税可能です。

## 【その他メリット一例】

①一定の基準や条件がありますが、ご家族への給料(専従者給与)が必要経費になります。

②10 万円以上(30 万円未満)の録音機材やパソコン等でも申告書への記載方法次第で全額損金算入できます。

## ・白色事業者の方

青色申告への変更を考慮されては如何でしょうか。

要件を満たす会計処理等に関しては面倒ではありませんので、ご相談ください。また青色申告の場合は単年度に生じた赤字(欠損金)を三年間繰越できるメリットもございます。収入変動がある方には有利となる場合もあります。

・青色白色関係なく、不動産(事業用・居住用)を売り買いされた方や、来年以降売り買いをお考えの方は住宅取得控除以外に事業所得との損益通算をうまく利用できる場合や事業経費を増加させることも可能な場合がございますので、ご相談ください。

・収入合計が 5000 万円超(特に 1 億円超)の事業者の方は、「目から鱗」の節税方法もありますので、セカンドオピニオン的に専門家の意見を聞かれることをお勧めします。

タックスエイドの問合せ先 森税務会計事務所 電話 03-5351-3577

## 2012 年度 公募予定のコンサート(企画部より)

- ♪ 音楽の料理人たち
- ♪ ピアノ悠々コンサート

公募詳細は決定次第、お知らせします。

## JCAA 事務局より

【新入会員】 高見裕一(H23 年 5 月) 林 魏堂(H23 年 6 月) 松浦有希(H23 年 7 月) 蓮実重臣(H23 年 9 月)  
橋本和昌(H23 年 12 月)

【退会会員】 奥 慶一 窪田晴男 櫻井浩司 細野晴臣 湯山 昭 若松 歓

## 編集後記

昨年は日本人にとって試練の年でした。未だにその傷跡が癒えているわけではありませんが、それでも 2012 年は未来に向けての希望の元年になりますように、という願いを込めて、気分も新たにカラーで作ろうと思い立ちました。さらに、ここはぜひ我が顧問弁護士の神谷先生に書を書いていただきたいと無理なお願いをさせていただいたところ、ご覧の通り、たいへん素晴らしい作品を贈っていただき、表紙を飾らせていただきました。

なお、今号より JCAA のホームページでも閲覧できますし、順次バックナンバーも閲覧できるようにいたしました。PDF 形式ですのでモバイル等にダウンロードしてオフラインで読む事も可能です。(T)